



医学部だより

第14号

2007.4.1

新入生歓迎メッセージ



医学部新入生の皆さんへ

医学部長 松本俊夫

この度は、徳島大学医学部入学おめでとうございます。

医学科、栄養学科、保健学科の何れの学科に入学した人も、卒業後は医療人として専門的な知識や医療技術を提供することを通じて社会に貢献するという、重い使命を負うこととなります。この医療人としての使命とは、健康な人達が病気にならないよう予防したり、病気に苦しむ患者さんの病気を診断・治療することによって病気から回復してもらうように支援することです。また新しい予防法や診断法・治療法などを研究し開発することも、この使命を全うする上での皆さんの将来の重要な選択肢の一つです。したがって、これからの学生生活を満喫して頂くと同時に、将来立派な医療人として社会に貢献できるよう、有意義な学生生活を送って下さることを期待しています。

現在、蔵本地区では病院の再開発が進み、西病棟の建設が急ピッチで進行しており平成21年度には完成の予定です。これと平行して研究棟の改修が進められており、現在進行中の第二期工事が今年春に完成の後、直ちに第三期工事が開始され基礎研究B棟の改修に着手する予定です。更に第四期工事として臨床研究棟西半分の改修を計画しており、東半分は取り壊して外来棟を新築すると共に、西病棟の完成後には現在の第3病棟を改修し新たに生命科学総合実験研究棟として医・歯・薬学部から臨床系教室が入る計画です。この間、旧第5病棟も改修し大学院が新設されて手狭になっている保健学科が使用する予定となっています。これらの改修・新築計画が順調に進めば、既に改修が終了している栄養学科と併せ、皆さんが卒業するまでには蔵本地区の病院および医学部研究棟の殆ど全てが新・改築されることとなります。また、現在の第二期工事が完成するとレストランが新設される予定となっており、皆さんの修学環境は飛躍的に改善されると思います。この様な環境の中で、勉学に

課外活動に学生生活を最大限に満喫して頂きたいと思います。

皆さん自身の心や体の健康を守り快適で健康な学生生活を送ることは、卒業後に医療人として多くの人達が健康に過ごせるために生活指導をしたり、診断や治療を担うという使命を全うする上で特に大切です。大学受験の難関を突破し晴れて入学された皆さんが、健康で明るい大学生活を送って初めて、多くの人達の健康を守る医療人となれることとなります。これからの学生生活では、自分の健康を自分で守るよう努力してこそ、健康で実り多い大学生活が過ごせることとなります。また、新しい仲間や先輩・後輩との出会いを大切に、多くの友人と交わることもこれからの皆さん自身の人生設計に大きな影響を及ぼしてくれるものと思います。是非とも課外活動にも積極的に参加して、実り多い学生生活を過ごして頂きたいと思います。学生時代の思い出は、私たちの年代になっても心に残り、いつまでも多くのことを自分に教えてくれるものです。

最後に、どんなに施設が改善されても、どんなにカリキュラムが充実しても、自ら努力し学ぼうという意欲と、自らを高めようとする向上心がなければ決して自分が成長できる糧とはなりません。大学入試を突破して入学された皆さんは、これで目標が達成された訳でも挑戦が終わった訳でもなく、やっと自分自身を高めることが出来る環境を得たに過ぎません。徳島大学医学部の一員となったこれからも出来るだけ高い目標を持ち、勉学に課外活動に思う存分自分の可能性に挑戦し、健康で実り多い学生生活を過ごしてこそ初めて卒業後に立派な医療人として社会に貢献することが出来ます。これからの大学生活を最大限満喫しつつ、誇りを持って自らの目標に向かい悔いのない充実した学生生活を過ごして頂けるよう心より期待しています。



新入生諸君へ

医学科長 泉 啓 介

私は学生時代から病理学教室に入ったり、卒後は病理医になろうと思ってすぐに病理学教室に入りました。大学院を終わって外国で発表したり留学したりするうちに動物を用いた基礎研究の方が面白いと思うようになり今に至ります。新入生諸君の多くが医師を目指すと思いますが、卒業までの6年間のどこかで生命科学研究の面白さに接することが将来医師となった時のために大事ではないかと考えています。現在の医学科のカリキュラムには3年次3学期に研究室配属があり、自分が希望する研究室もしくは外国の研究室で研究に従事できるようになっています。19年度からの新カリキュラムではこれを延長し、3年次は午前中は講義・実習、午後は蔵本地区の研究室（基礎・臨床医学分野、分子酵素学研究中心、ゲノム機能研究中心、薬学部）で生命

科学研究に係わってもらふことになります。3年次3学期から臨床医学の講義が始まり、4年次から少人数教育と組み合わせた臓器疾患別講義、5年次の臨床実習へと突き進んで行くことになります。4年終了後に大学院に入る MD-PhD コースも選択可能です。

最近、医療事故が新聞・テレビで話題になることが多いのですが、近い将来患者になる可能性が高い私の関心はそれが本当に医療過誤なのか否かということ、医療者側が包み隠さず正確な情報を患者側に説明したのか否かということです。内科的治療であろうと外科的治療であろうと人の身体を扱う以上は全ての医療行為は医療過誤になりうる可能性を秘めています。医師になるために今何をすべきかよく考えてください。



新入生の皆様へ

栄養学科長 宮 本 賢 一

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。栄養学科は創立43年を迎え、栄養学の大学院として日本で最初に設立された栄養学研究科を中心に学部と大学院が一体化し、日本の「食と健康」を支える優秀な人材を全国に輩出しております。現代の複雑で高度化した栄養問題を解決する中心的な役割を担うのが、食の専門家としての管理栄養士です。日本人は一生の間に約70トンの食糧を食べ、約12,000種類の食素材を利用しています。そのため、我々

が何を食べるかは非常に重要です。また、このような食を取り巻く状況の変化を踏まえ、健全な食生活に必要な知識の習得など「食教育」も必要になりました。栄養学科では、食を中心とした病気にならない為の学問を、医学的な側面から行っております。新入生全員が栄養学分野のリーダーを目指し、大きな志を抱き、この伝統ある栄養学科をさらに発展させてくれることを期待しております。



新入生の皆さんへ

保健学科長 長 篠 博 文

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。すでに卒業した第1・2期生の多くは、看護師、保健師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師として医療現場に出て活躍を始めています。入学した皆さんも、チーム医療を担う医療人として社会に大きく貢献できるよう、4年間を有意義に過ごして下さい。昨年4月には大学院保健科学教育部（修士課程）が設置され、今年度学年進捗が完成しました。定員14名に対して昨年度は17名、今年度は14名が入学し、より高度な専門職業人や教育・研究者への道を目指して学習・研究に励んでいます。本学科の卒業生では、昨年度・今年度とも8人が進学しています。昨年度導入した大学院教育のための設備は保健学科学生の皆さんの教育のためにも活用できますので、より充実した実習・研究を行えるようになります。更に、博士課程の設置を目指し

て現在計画中です。他にも課題は山積しています。特に建物の面積は4年制になっても、まだ医療技術短期大学部のときと変わらないため、卒業研究のスペースも足りず4年生の皆さんには苦勞をかけています。やっと今年度に旧第5病棟の一部を使用できるようになりましたので、セミナー室等を増やすことができそうです。今年医学科棟改修第二期工事が完成しますと、医学部事務室統合の予定であり、現在保健学科棟にある第四教務係は医学科棟に移転することが計画されていますので、そのスペースの活用も見込まれます。一方、事務室移転によって学生の皆さんへのサービスが低下しないよう、要望しています。保健学科の発展のため教員一同、力を尽くす所存でございますので、関係各位にはご協力・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

医学科

教員

どのような医師になりたいですか？

生体情報内科学分野 赤池 雅史

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんはどのような医師になりたいですか？医師は「人」という心と体を合わせ持った複雑な存在を対象とします。医学・医療の知識・技術の量は膨大で、急速に進歩しているだけでなく、患者さんの持つ問題点はひとりひとり異なっています。医師に必要なことは知識の丸暗記ではなく、患者さんの持つ問題点について自ら考え、その解決のために自分に不足していることを自ら学習することです。さらに進んで、医学研究と患者さんの診療を結びつけることも重要です。そこには「試験範囲」もなければ、「正解」も無いかもしれません。また、今やひとりの「名医」が勝手に病気を治すのではなく、患者さんへの説

明と同意をもとに、チーム医療で診療を行う時代です。このためには、医師は医学というサイエンスを修めるだけではなく、コミュニケーション能力を身に着けることも必要です。

このような医師にとって必要な能力を身につけるために、医学科では、研究室配属、PBL チュートリアル、診療参加型臨床実習など新しい医学教育カリキュラムが組まれています。皆さんはいかに楽をしてこれらに合格するかではなく、これらはいかに自分の未来につなげていくか、常に考えてください。そして教員との交流やサークル活動などによる友人や先輩、さらには社会とのつながりもぜひ大切にしてください。

皆さんと一緒に仕事をする未来を楽しみにしています。

卒業生

新入生の皆さんへ

泌尿器科研修医 泉 和良

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから始まる新しい環境下での新たな学生生活に胸躍らせている事でしょう。そんなフレッシュな皆さんに私が研修医の立場から伝えたい事はただ1つ。1年生から手を抜かずしっかり「基礎」を勉強しましょう、という事です。医学は主に、解剖学・生理学・薬理学などの医を考える上での基本となる「基礎」と、内科学・外科学といった診断や治療を扱う「臨床」に大別されますが、学生時には早く一人前になりたいという焦りから後者が重視されがちです。しかし実際に医師になって気付く事は、「基礎」がなければ「臨床」でぶつかる医学的問題・疑問を解決できないという事。基礎があって初めて正しい臨床医療が施

せると思うわけです。抽象的ではありますが、一先輩のアドバイスとして心に留めておいて頂ければと思います。

しかしながら優秀な医師として必要なものはやはり医学的知識だけではありません。同僚をはじめ上司や後輩、コメディカルや他職種の方々等、医療を円滑に提供するために必要となる「人」とのつきあい方、礼儀を含む社会人としての一般常識や医師として不足しがちな政治・経済の知識といった、講義では学ばない様々な要素を多種多様な大学生活から学んでほしいと思います。

それではみなさん、各々の描く有意義な学生生活を全うしてください。

在校生

新入生の方々へ

医学科4年 西山 徹

ご入学おめでとうございます。

目標であった大学合格を成し遂げ、今皆さんは俗にいう花の大学生活を謳歌していると思いますが・・・そんな皆さんにこれから六年間大学生活を送るにあたって、在校生としていくつか伝えたいこと、できればやってほしいことがあります。

これは僕自身が出来ていなかった事で、今となってはやっておけばよかった・・・と後悔していることばかりです。

まず、最初に理解しておいてほしいことは、大学生活の六年間は本当に短いということです。確かに時間的には他の学科よりも長い期間学校にいるわけですが、実際に、医学科というのは将来人の命を預かる医師という職業に就く訳ですからやはり勉強することも他の学科の学生に比べると多いです。低学年(教養・基礎)のうちはゆっくりとていられますが学年があがり臨床分野に入るに従って徐々に時間がたつのが早くなっていくのは身をもってわかってもらえらると思います。そのためにも時間に余裕のあるうちに自分のやりたいこと(部活・語学留学・趣味・バイト等)は是非やっておいてください。

次に勉強面で非常に重要な事なのですが・・・臨床医学を正確

に理解し良い医師になるためには、まず基礎医学をしっかり学んでください。これは皆さんにとっては当たり前だろうと思うかもしれませんが、実際にはこれが出来ている学生が少ないのも事実なのです。なぜかといいますと臨床の授業に比べて基礎の授業というのは興味が持ちにくく、授業を受けているときはその重要性を理解できないからです。臨床が始まればまじめにやればいいや、そんな甘い考えでいくといざ臨床の授業が始まったときに土台がないために何もわからないということになりかねません・・・。そのためにも基礎医学の勉強というのは大変重要なのです。(僕自身も今、このことを痛感しています。)

最後に私生活においてですが、これは簡単なことです。いざというときに助け合える仲間、そして親友を持ってください。これは人が生きていく上で言うまでもない事だと思います。

長々と脈絡のない内容を書きつづってしまいましたが僕のいったことを少しでも頭の片隅において六年間の大学生活を送っていただければ幸いです。

皆さんの大学生活がすばらしいものになることを心より願っています。

栄養学科

教員

新入生へのメッセージ

国際公衆栄養学分野 伊勢岡 義 充

新入生（第44期）の皆様、ご入学おめでとうございます。私は、栄養学科2期生として4年間を大学で過ごし、卒業後は給食施設の管理栄養士、行政管理栄養士として30年あまり勤務し、平成16年4月から給食経営管理論の講義と実習を担当しています。当たり前のことなかもしれませんが、大学で学ぶ基礎的な知識は非常に大切だということです。現場では感じなかったのですが、大学で講義・実習をする中でこのことを痛感しています。また、大学は運動部・文化部の学友会活動、課外活動等を通じて、いろいろな人たちと触れ合う機会があり、貴

重な体験、特に人間関係を得ることができます。これら勉学以外の体験も将来のために生かしてほしいと思います。私は大学の課外活動で得た技術・人間関係が現場での仕事・人間関係構築に大いに役立ちました。

徳島大学栄養学科は日本の栄養界を支えていく管理栄養士を養成する大学です。管理栄養士の仕事は多岐にわたり、近年は新しい分野にも活動の場所が広がっており、社会からの管理栄養士への期待には大きなものがあります。4年間はあるという間に過ぎてしまいます。4年間を有意義に過ごしてください。

卒業生

新入生の皆さんへ

大学院栄養生命科学教育部 博士後期課程 2年 荒波 史

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。長く苦しかった受験が終わり束の間の休息を楽しんでいることでしょう。次は新しい環境での生活に馴染むという大仕事が待っています。そのためには何よりも精神力及び体力が必要となりますので今のうちに英気を養っておいてください。

大学というのは様々な勉強ができることです。先生方がしてください講義での勉強だけではありません。バイトであれば今までは教科書でしか知ることのなかったお金の流れを肌で感じることでしょ。それだけでなく部活でもそうですが多種多

様な環境、経験の元で育ってきた人の中での人間関係の築き方の勉強もできると思います。当然勉強であるからには楽しいことだけではなく、苦しいこともあるでしょう。しかし、それらは将来的にみなさんの人生において大きなプラスとなって現れると思います。

最後に大学4年間というのは長いようで短い4年間です。後悔のないよう存分に遊び、勉強をし、楽しんでいただきたいと思います。

在校生

新入生の皆さんへ

栄養学科4年 河野 舞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長かった受験生活から解放され、これから始まる大学生活にたくさんの夢と希望をふくらませていることでしょう。

さて、栄養学科では一昨年からカリキュラムが変更され、管理栄養士と栄養教諭の両方の受験資格が取得できるようになりました。これに伴い講義や実習など皆さんのスケジュールが待っています。1年は共通教育科目の講義、2、3年では専門教

科の講義と実習、4年では学外実習と卒業研究があります。このようなめまぐるしい状況でも皆さんは「人生の夏休み」とも称される最も楽しい時期を過ごされます。その1日1日を大切に過ごし、勉強だけでなく、クラブ・サークル活動やアルバイトなどで積極的に交友関係を広げ、メリハリのある充実した大学生活を送ってほしいと思います。

(学年は平成19年3月時点)

医学部行事予定 (平成19年4月～平成19年9月)

4月5日(木)	医学部新入生学科別オリエンテーション(医学科、栄養学科、保健学科) 医学科第2年次オリエンテーション(13:30～)	4月18,19日	学生定期健康診断 保健学科2年生以上
4月6日(金)	徳島大学入学式、医学部共通新入生オリエンテーション(13:30～長井記念ホール) 医学部授業開始	5月8,14日	学生定期健康診断医学部1年生 (5月14,16日まで)
4月7日(土)	医学部新入生研修(於:長井記念ホール)	7月下旬	西日本医科体育大会(8月中旬)
4月11日(水)	新入生授業開始	8月初旬	徳島大学オープンキャンパス(学部説明会) 午前:栄養学科、午後:保健学科
4月12,16,17日	学生定期健康診断 医学科・栄養学科2年生以上		医学部保健学科看護学専攻体験入学 徳島大学オープンキャンパス(学部説明会) 午前:医学科 *例年、8月第一週目の木、金に実施しています。

保健学科

教員

たくさんのお会い

看護学専攻 谷岡哲也

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学入試という難関を突破し、希望と期待に満ち溢れていることと思います。

大学においては様々な出会いがあります。先生方、学友、学科や部活の先輩、臨床実習の場で出会う人々、アルバイト先での人々など、数えるときりが無いくらいの人々と出会いがあり、そこには沢山の学びがあることでしょう。これから卒業までの間には、講義・実習・国家試験とそれぞれの場面で困難な場面に出会うかもしれません。

大学生活には自由がありますが、それだけ責任もあるのです。

大学生のうちに成人式を迎える学生も多いと思いますが、大人としての責任も課せられるでしょう。そこで、親からの自立、学問を行う上での自立、そして社会の中での自立ということを確認する必要があります。

このような大学生活のなかで、一生の友人や伴侶を得る人もいます。学生生活はあっという間に過ぎてしまいます。あなたの夢の実現のために積極的に新しいことにチャレンジし、有意義な学生生活を過ごされ、素晴らしい出会いがあることを願っています。

卒業生

新入生の皆様へ

大学院保健科学教育部2年 山田健二

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆様はこれまでの学生生活とは異なった、自由な学生生活が始まります。また、社会に出て行くための貴重な期間を過ごすことにもなります。十分にそれらの時間を楽しんで下さい。

さて、皆様はこれから大学生活を送っていくのですが、大学生とは非常に微妙な位置に存在しています。多くの方々は成人を迎えるでしょう。しかし、成人になったからといって何も変わりません。学割ももちろん使うことができます。世間には大人として見られたいが、学生として甘えたい。そんな位置に存在します。

そんな大学生活で重要なのは、自分を成長させ確立していくことなのです。そのためには積極性を持ち、様々な事に挑戦してください。サークル活動やボランティア活動、遊び、アルバ

イトなど、どのようなことでもかまいません。その場で多くの挫折や、やりがい、達成感を十分に味わって下さい。また多くの人と接して下さい。大学生活では勉強だけに精一杯にならず（勉強も重要ですが）、多くの人間関係を得てほしいのです。皆様はこれから医療の場にていきます。そこで最も重要なのは人間性だと思います。喜び、怒り、哀情、感謝、などの様々な感情を高めて下さい。他人の立場を自分の立場と置き換えて行動できるような人間性を持ってください。どれだけ親身に行動できるか。忘れやすい事かもしれませんが、医療に関わり人と接していくであろう皆様には特に重要です。

これから医療人として社会に出ていく自覚をもち、十分に充実した楽しい大学生活を送っていただけることを期待しています。

在校生

新入生の皆様へ

検査技術科学専攻4年 妹尾彰之

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。長く苦しかった受験生活からも解放され、これから始まる大学生活に期待をふくらませていると同時に不安もかかえていると思います。

大学では今までよりも勉強しなければならないこと、身につけなければならない知識もたくさんありますが、自分のやりたいことをできる自由な時間もたくさんもてるようになります。自分から積極的に行動し、部活やサークル、バイトなどで学科内以外の友達や先輩との交流を広げ、充実した大学生活を送っ

てください。

検査技術科学専攻では、1年では全学共通教育科目と基礎科目、2年から3年の前期にかけては専門教科の講義、3年の後期から学内実習、4年では病院実習や卒業研究があります。学年があがるにつれて忙しくなり、求められる専門性も高くなりますが、その分充実した毎日を送ることができると思います。

この貴重な4年間を無駄にすることなく、実りある大学生活を送ってください。（学年は平成19年3月時点）



学友会活動

平成 18 年度

●●● 運動部 ●●●

●●● 文化部 ●●●

	クラブ名	部長		クラブ名	部長
1	硬式野球部	中西 秀樹	11	硬式庭球部	福井 清
2	ソフトテニス部	武田 英二	12	バドミントン部	土井 俊夫
3	ラグビー部	中西 秀樹	13	サッカー部	荒瀬 誠治
4	卓球部	香美 祥二	14	バレーボール部	佐野 壽昭
5	柔道部	中屋 豊	15	バスケットボール部	泉 啓介
6	弓道部	石村 和敬	16	極真空手道部	塩田 洋
7	剣道部	安井 夏生	17	陸上競技部	福井 清
8	準硬式野球部	島田 光生	18	ゴルフ部	曾根 三郎
9	合気道部	上野 淳二	19	競技スキー部	福井 清
10	水泳部	中屋 豊	20	フットサル部	阪間 稔

	クラブ名	部長
1	軽音楽部	中西 秀樹
2	外国語研究会	塩田 洋
3	栄養学研究部	伊勢岡義充
4	茶道部	中堀 豊
5	室内楽同好会	大下 修造
6	書道部	福井 清
7	手話サークル	香川 典子

※平成 19 年度の各クラブの学生責任者は未定ですので、入部等の問い合わせについては、学務課（学生指導担当：☎ 633 - 7030）へ連絡してください。

数字で見る医学部

～平成 19 年 3 月卒業者の進路状況～

医学科・栄養学科 H19.2 現在
保健学科 H19.3 現在

医 学 科	
進 路 先	合計
徳島大学医学部・歯学部附属病院	5
京都府立医科大学附属病院	2
和歌山県立医科大学附属病院	1
自治医科大学附属大宮医療センター	1
大阪市立大学医学部附属病院	1
国際医療福祉大学附属病院	1
国立病院機構香川小児病院	3
国立病院機構高知病院	1
国立病院機構姫路医療センター	1
国立病院機構福山医療センター	1
国立病院機構千葉医療センター	1
国立病院機構東京医療センター	1
徳島県立中央病院	5
徳島市民病院	4
徳島健生病院	1
健康保険鳴門病院	3
徳島赤十字病院	7
高知赤十字病院	1
松山赤十字病院	1
神戸赤十字病院	1
深谷赤十字病院	1
高槻赤十字病院	1
松山市民病院	1
小田原市立病院	1
市立三次中央病院	1
福岡市民病院	1
大阪府立成人病センター	1
黒部市民病院	1
岡山市立病院	1
大津市民病院	1
道立紋別病院	1
市立加西病院	2
小田原市立病院	1
八尾市立病院	1
日本赤十字社和歌山医療センター(和歌山県)	1
KKR 札幌医療センター	1
名古屋掖済会病院	1
亀田総合病院	1
社会保険中京病院	1
大手前病院	1
竹田総合病院	2
東京都立墨東病院	1
手稲溪仁会病院	1
九州中央病院	1
済生会中央病院	1
済生会福岡総合病院	1
淀川キリスト病院	1
虎ノ門病院	1
聖隷浜松病院	2
社会保険庁小倉記念病院	1

済生会中津病院	1
松代総合病院	1
耳原総合病院	1
関越病院	1
神綱病院	1
ベルランド総合病院	1
伊勢原協同病院	1
東住吉森本病院	1
済生会千里病院	1
敬愛会 中頭病院	1
京都民医連中央病院	1
医療法人八尾徳洲会総合病院	1
公立甲賀病院	1
ハートライフ病院	1
神戸労災病院	1
神戸徳洲会病院	1
小 計	91
その他	6
未定	1
小 計	7
合 計	98

栄 養 学 科	
進 路 先	合計
長野県職員	1
香川県職員	1
大阪府職員	1
株式会社シェイプアップハウス	2
株式会社 西利(食品会社)	1
博愛記念病院	1
財団法人 倉敷中央病院	1
医療法人 光輝病院	1
山口大学附属病院	1
加ト吉	1
株式会社 トーカイ	1
株式会社 エームサービス西日本	1
小 計	13
大学院進学	
徳島大学大学院栄養生命科学教育部(博士前期)	16
徳島大学大学院医科学教育部	2
お茶の水女子大学大学院(博士前期課程)	3
神戸大学大学院医学研究科	1
つくば大学大学院修士課程体育研究科	1
九州大学大学院医学系学術医科学専攻	1
大阪体育大学大学院スポーツ健康医科学領域	1
静岡県立大学大学院博士前期課程	1
小 計	26
未定(進学予定)	5
未定(就職予定)	4
未定	4
小 計	13
合 計	52

保 健 学 科 : 看 護 学 専 攻	
進 路 先	合計
徳島大学病院	20
九州大学病院	3
愛媛大学病院	2
大阪大学病院	2
神戸大学病院	2
京都大学病院	1
鳥取大学病院	1
東京大学病院	1
北里大学病院	1
徳島赤十字病院	2
和歌山赤十字病院	1
大阪赤十字病院	1
倉敷中央病院	2
聖路加国際病院	2
関西労災病院	2
大阪労災病院	1
神戸労災病院	1
西神戸医療センター	3
大阪医療センター	1
四国がんセンター	2
長崎医療センター	1
国立循環器病センター	1
阿南市保健センター	1
大阪府母子保健総合医療センター	1
石井町役場	1
三世会河内総合病院	1
阿南協栄病院	1
北野病院	1
川崎病院	1
西脇市立西脇病院	1
鳴門健保病院	1
香川小児病院	1
徳島市民病院	2
小 計	65
大学院進学(保健科学教育部)	2
進学(助産学専攻科)	1
大学院進学(総合科学)	4
大学院進学(看護)	2
看護専門学校教員	1
未定	1
小 計	11
合 計	76

鳥取大学病院	1
高松赤十字病院	1
京都第一赤十字病院	1
旭川赤十字病院	1
徳島赤十字病院	1
甲南病院	1
聖マリア病院	1
天理よろず相談所病院	1
田崎病院	1
松山市民病院	1
森岡病院	1
倉敷中央病院	1
三好病院	1
坂崎診療所	1
KKR 高松病院	1
愛媛県総合保健協会	1
鳥取県職員	1
健康保険諫早総合病院	1
JA 高知厚生連	1
西神戸医療センター	1
小倉記念病院	1
西宮渡辺病院	1
住友病院	1
小 計	28
大学院進学	6
未定	5
小 計	11
合 計	39

保 健 学 科 : 検 査 技 術 科 学 専 攻	
進 路 先	合計
済生会西條病院	2
博愛病院	1
近森病院	1
徳島市民病院	1
和歌山県立医科大学附属病院	1
国立病院機構高知病院	1
徳島赤十字病院	1
高松赤十字病院	1
三好市職員	1
京都桂病院	1
宇和島社会保険病院	1
小 計	12
大学院進学(保健科学教育部)	2
進学(細胞検査士養成所)	1
未定	4
小 計	7
合 計	19

保 健 学 科 : 放 射 線 技 術 科 学 専 攻	
進 路 先	合計
九州大学病院	1
鹿児島大学病院	1
名古屋大学病院	1
関西医科大学病院	1
近畿大学医学部奈良病院	1



病院店舗のご案内

病院正面玄関から病棟方向へ少し歩いたところに、『天吉うどん』及び『タリーズコーヒー』、『ローソン』があります。この店舗の充実、患者をはじめ病院職員に対して取り組んでいるアメニティ改善のひとつです。

『天吉うどん』では、うどんとそば（トッピング可能）以外に、丼物や季節のご飯物（うどんやそばとセット可能）等をお店にて召し上がれるほか、テイクアウトも可能です。営業時間は、月曜日～金曜日（祝祭日休業）10:30～18:00となっています。

『タリーズコーヒー』では、コーヒー等の飲み物やパン等の軽食、期間限定メニューも取り扱っています。営業時間は、月曜日～金曜日（祝祭日休業）7:30～18:30となっています。

『ローソン』では、各種お弁当・パン、お菓子から雑誌に至るまで、品揃えについては他のローソンと遜色ありませんが、営業時間は、7:00～22:00（休業日なし）となっています。是非ともお立ち寄りください。

（徳大病院総務課広報担当）



▲ 天吉うどん



▲ タリーズコーヒー



ローソン ▶

生協ミニフードショップ『Cafeteria KURA-LA』のご案内

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。学生さんは自転車で両キャンパス往復の授業、実習、実験など非常にお忙しいそうです。新入生の推奨パソコンは医学科・栄養学科・保健学科放射線専攻から注文を頂いています。コンピュータを使って情報を収集、研究発表のためのプレゼンテーションと生命科学の学習におおいに役に立ちますので、今から十分に使いこなしましょう。生協蔵本店の専門スタッフに、お気軽にご相談下さい。

医学部医学科基礎棟にこの度、ミニフードショップ『Cafeteria KURA-LA（くら・ら）』が6月頃（予定）にオープン致します。お忙しい学生さんにとって、寛いでお食事をすることは非常に大切だと思います。『KURA-LA』の名称は多数の応募の中から、蔵本の「くら」（知識の宝庫）と楽しく食事をしていただけるよう「ラララ♪」（研究室 Laboratory）と、医学科4年生平尾さんのご提案を採用させて頂きました。生協は「安心・安全な食育」を学生・教職員・保護者の方々のご協力を頂きながら取り

組みたいと思います。新鮮な地元徳島産の野菜をメニューに生かしていきます。営業時間は朝8時～夜8時（平日）。IC付生協組合員証に加金すれば、ポイント5倍デーもあり、ご利用還元をしています。



現在の蔵本店も夏頃にリニューアルを行い（予定）蔵本キャンパスの「BookStore」として専門書、基礎・臨床の和書・洋書はもちろん国家試験対策用テキスト・新刊書や文庫新書もさらに充実していきます。新学期は10%割引です。大学生活をおくるうえで欠かせない保障である生協の共済・学賠は万一の時の『助け合い制度』としてございます。

新生活でお忙しい中のほっと一息に「蔵本キャンパスのオアシス」として蔵本店＆『Cafeteria KURA-LA』をお気軽にご利用下さい。

（生協蔵本店 店長 鈴木）



*** 退職者ご挨拶 ***



臓器病態治療医学分野 教授 伊 東 進

昭和43年、本学医学部を卒業して以来40年間、関連病院への出向と2年間の米国留学を除いて、ほとんどの期間を大学で勤務いたしました。多くの方々のご協力、ご支援をいただき平成2年に第二内科（現臓器病態治療医学）の教授に就任致しました。第二内科は患者数が多い消化器科・循環器科を担当したため、日々の診療に追われ医局の先生方はお忙しかったことと思います。この間、入局していただいた医局員は150名余り、学位取得者が

147名あり、これらの方々が生局運営を支えてくれました。

臓器病態治療医学は「患者さんを診る」臨床教室です。私は退職しますが、新入生の皆さんは教室の先生方から「患者さんの診方」を是非学んでください。私自身は、サムエルウルマンの青春の詩を口ずさみながら「理想と夢と希望」を持ち続け退職後の人生を歩んでいきたいと考えております。

最後になりましたが、今日までご協力いただいた関係者の皆様方に厚くお礼申し上げまして退職の挨拶と致します。



生体栄養学分野 教授 岸 恭 一

昭和42年4月に助手として採用されましたが、その年は栄養学科創設4年目に当たり、1期生の卒論研究の時期でありました。お蔭様で、爾来43期生までの全栄養学科生と接することができましたことは非常に幸いなことでした。ヒトの食事実験では、多くの栄養学科生が快く被験者を引き受けてくださり、日本人のタンパク質必要量の貴重なデータを得ることができました。この機会に改めて感謝申し上げます。

40年にわたり医学部栄養学科でお世話になりました間、浅学非才を顧みず学長補佐、留学生センター長、生協理事長なども経験させて戴き、大変な勉強になりました。これも諸先生方、職員の方々の温かいご指導の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

この40年間の医学部の発展は目を見張るばかりです。病院を含め医学部全体の相次ぐ改修により、充実した教育内容ならびに最先端の研究成果にふさわしい外観を整えつつあり、ご同慶の至りです。今後も飛躍的な発展を遂げ、世界に雄飛されんことを祈念申し上げます。



保健学科看護学専攻 教授 森 本 忠 興

昭和42年3月、徳島大学医学部医学科卒業後、旧第二外科（井上外科）に入局しました。医師としての40年間のうち、昭和52年4月から13年間の旧第二外科時代は、乳癌診療を中心に働かせていただきました。平成2年4月に医療技術短期大学部に移り、短大部・保健学科の17年間は、教育・研究を中心に過ごしましたが、徳島大学在籍30年のうち半数以上を保健学科でお世話になったこととなります。この中で、平成12年4月から医療技術短期大学部の第四代部長に就任し、平成13年10月からの医学部保健学科への改組・転換に伴い、初代保健学科長となり、

3年6ヶ月間の短大部長と2年間の保健学科長を務めさせて頂いた。この間の印象深いことは、保健学科への改組作業に携わったこと、部局長として徳島大学の運営会議、評議会等、大学の運営管理に係れたことです。さらに国立短期大学協会（国短協）の会長校として齋藤史郎学長のもと副会長を経験し、文部科学省、他大学とのネットワークが出来たことでした。管理・運営者としての在り方等、大変よい経験をさせて頂きました。私の第二の人生に生かせたいと考えております。徳島大学30年間、本当に有り難うございました。今後の徳島大学医学部の益々の発展と関係各位のご健勝とご多幸を祈念いたします。



保健学科検査技術科学専攻 教授 藤 井 正 信

1967年、本学の薬学部修士課程を修了し薬学部衛生化学教室助手を経て、医学部公衆衛生学教室、医療技術短期大学部、医学部保健学科へと40年間にわたり予防医学を中心に衛生・公衆衛生学の教育・研究に携わってきました。医学部公衆衛生学教室に在籍していた頃はField調査を中心に成人病（今日的生活習慣病）予防のための公衆栄養に関する研究指導を受け、これが私の今日までの衛生・公衆衛生学の礎となりました。

重要な要素である環境保健に関する教育・研究にも携わる事が出来ました。振り返りますと、栄養学、環境保健学という衛生・公衆衛生学の中心に身を置くことが出来ましたことは大変幸運であったと思っています。

今日ではますます生命を遺伝学的要素で追求し、疾病要因を遺伝子レベルで解析していく要素還元主義的方法論に向かう傾向にありますが、人のような複雑系においては、従来の公衆衛生学にあります全体性を見失わない、要素非還元主義的方法論も取り入れた双方向性の考え方も必要でないかと思ひます。

戦後50年の日本人の平均寿命の目覚ましい伸びは医療の進歩にも増して栄養摂取（特に蛋白質栄養）の質的改善にあり、予防医学を進める上で栄養学の重要性はいうまでもありません。医療技術短期大学部、保健学科においては疾病予防のための重

本学を退職するに当たり、今日まで支えて頂きました教職員の方々に心から感謝申し上げますと共に、皆様方の今後ますますのご活躍と本学の発展を心からお祈り申し上げます。



保健学科看護学専攻 教授 近藤 裕子

平成14年4月、桜の花がちらほらと散りかけた時期に、前任大学から着任しました。5年間、徳島大学で看護学の基礎教育に関わりましたが、これからの人生を悔いなく送りたいとの思いで、定年には未だ2歩も3歩も残していますが、3月で退職いたしました。

この5年間、徳島大学はさまざまな点で変革の時期だったよ

うに感じています。その中で、初めて経験する事もたくさんありましたし、また前任大学との違いに驚いたり、学びの多かった日々でした。これからはこの学びを、人生の糧として、また道しるべに新しい生活に入りたいと思っています。

今後は、大学の外から徳島大学のさらなる発展を期待するとともに、蔵本キャンパスでは人を尊重し、その人の痛みが分かる医療者をたくさん輩出し、地域医療に貢献していただくことを願っております。

*** 転出者ご挨拶 ***



金沢医科大学健康生態医学分野 基礎系法医学部門 教授 北村 修

平成19年1月1日付けで、金沢医科大学健康生態医学分野基礎系法医学部門を担当することになりました。徳島大学在任中は皆様に大変お世話になりました。私は昭和63年に長崎大学医学部を卒業し、同大大学院に進学、さらに東京慈恵会医科大学を経て本学に参りました。この間、本学教職員の皆様をはじめ多くの方々

のご指導に恵まれたと実感しています。また、本学在任中は教育の場を通じて、多くの学生の皆さんと触れ合ったことが良き思い出となっています。これからは、石川県という新たな土地で、教育、研究、法医実務に全力を尽くす所存であります。今まで以上に皆様方にご指導を仰ぐ機会もあるかと存じますが、その節は何とぞよろしくお願い申し上げます。最後になりますが、皆様方の益々のご発展、ご清祥を祈念申し上げます。



つくば国際大学 医療保健学部 理学療法学科 教授 澤田 和彦

平成19年4月1日付けで、つくば国際大学医療保健学部に着任いたしました。私は平成8年2月に徳島大学に赴任して以来11年間、機能解剖学分野（旧・解剖学第二講座）で福井義浩教授のもと、研究・教育に従事してまいりました。つくば国際大学では理学療法学科と看護学科で解剖学の講義、実習を担当させて頂くことになりました。これらの授業では、徳島大学医学部で担当さ

せて頂いた系統解剖実習を通して私が学んだ人体の構造の精巧さ、多様性、生命の尊さを学生に伝え、優れた理学療法士、看護師の育成に尽力する所存です。最後になりましたが、福井教授をはじめ徳島大学在職中にお世話になった方々にこの場を借りて感謝を申し上げます。また、研究面においても一層の精進と努力をしていく所存ですので、今後とも御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



金沢大学がん研究所 腫瘍内科研究分野 教授
金沢大学医学部附属病院 がん高度先進治療センター長 矢野 聖二

平成19年4月1日付けで、金沢大学がん研究所腫瘍内科研究分野担当を拝命いたしました。徳島大学在職中は多くの方々に大変お世話になりました。この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。私は平成2年に本学医学部医学科を卒業後、17年にわたり曾根三郎教授のもと分子制御内科学（呼吸器・膠原病内科：旧第三内科）で勉強させ

ていただきました。この間、本学で何物にも変えがたい貴重な経験をさせていただいたことを誇りに思っております。金沢大学ではがん高度先進治療センター長も併任し、がん医療の向上のため研究・診療の両面で微力ながら全力を尽くす所存ですので、これからもご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



テキサス大学ヒューストン・ヘルス・サイエンス・センターと サマープログラムに関する協定締結

医学部長補佐（国際関係担当） 村澤 普恵

今年1月16日付けで、本学医学部とテキサス大学ヒューストン・ヘルス・サイエンス・センター（UTHSC-H）との間で、向こう5年間に渡るサマープログラムに関する協定が締結されました。これは、平成14年11月27日に、本学とUTHSC-Hとの間で締結された大学間協定の内容をふまえ、今後両校の学生同士の友好を深め、将来のさらなる共同研究などの礎を築くために新たに結ばれた協定です。

UTHSC-Hは世界的に有名なテキサス・メディカル・センターの中にあり、医学、歯学、バイオ・メディカル・サイエンス等のフィールドにおいて、教育や研究に熱心に取り組み、医学界の発展に多大な貢献をしています。

このサマープログラムは、本学医学部の学部生（20歳以上）または大学院生が夏期8週間か10週間UTHSC-Hに短期留学し、

基礎または臨床の研究に携わりながら、UTHSC-Hのファカルティや学生と交流を図るのが目的です。テキサス滞在中には、M.D.アンダーソン・キャンサー・センターやメディカル・センターなどの施設見学の他、著名な学者の講演なども予定されています。

夏の間、テキサスで勉学や研究に励み、大いに友好を深め、さらには英語によるコミュニケーションのスキルアップを目指したいという大きな志を持つ学生をUTHSC-Hは待っています。

このプログラムへの参加を希望するか詳細を知りたい方は、学務課第一教務係にご連絡ください。

電話：088-633-7029

E-mail：isygakumu1k@jim.tokushima-u.ac.jp

学遊抄

睡眠研究のきっかけ

統合生理学分野 勢井 宏義

学生時代の「夢の研究」が今の私の研究のきっかけです。人生の時々で、その後の生き方を決める大きな「きっかけ」があるようです。今、少しは「科学的」な研究ができるようになり、「夢」だけではいい研究ができないことも解っている、と信じている私ですが、それでも、つい（現実化できない）夢見る研究ばかり想ってしまうのは、その「きっかけ」のせいなのかもしれません。

「性的禁欲を続けたら、どんな夢を見るようになるか？」私が医学部3年生のとき、悪友にそそのかされて、第2生理学教室（現・統合生理学分野）でやらせてもらった初めての実験（と言えるか？）のテーマです。実験内容はいたって単純。級友たち（男性）が被験者です。刺激的な書籍を読ませながら、禁欲状態を数週間ほど続けてもらい、その時々夜と、禁欲を解除した一夜（開放夜）において、脳波や眼球運動、心電図、呼吸などの終夜ポリグラフを記録しました。夜中、脳波計のそばで徹夜しながら、被験者がレム（夢見）睡眠に入ったら5分ほど置いて覚醒させ、そのとき見ていた夢について話してもらいました。徹夜の実験ですから、翌日の講義はまともに聞けず、時として私たち自身がぐっすり夢の中でした。

何ヶ月か経って実験結果をまとめてみましたが、有意差がある結果といえるのは、「睡眠に入るまでにかかった時間（入眠潜時）が、禁欲が続くにつれて長くなり、そして、開放夜で短くなった」ということぐらいでした。夢内容は本当にヒトそれぞれ、おもしろいぐらい多彩で、結局まとめることができませんでした。これを生理学会地方会で発表したところ、徳島新聞やラジオ局、そして最後には男性雑誌「平凡パンチ」の取材まで受けてしまいました。

当時、生意気に知ったかぶりをするのをかっこいいと勘違いしていた仲間の中で、フロイトや宮城音哉などが流行っていたこともあって、第2生理学教室の先生方にせがんで、でも真剣に、やらせてもらったのがこの実験です。今、教員の立場になってみて、よくこんなテーマで実験をやらせてもらったなあ、つくづく、当時の先生方の器の大きさに感謝しています。また、テーマはテーマだけど、睡眠脳波の読み方から、学会発表の仕方に至るまで、厳しくきちんと指導されました。つまり、「私たちはただ遊んでいただけ」ではなかったのです。

今考えると、この「夢の研究」は医学研究として全くふさわしくないものなのですが、それでも、後輩の学生さんたちにも、損得では語れない様々な「きっかけ」に出会い、さらにそれを大切にしていってほしいと願っています。



著者（左上）と悪友たち。右下は森田前教授

◆◆◆ 受賞者紹介 ◆◆◆

中 田 賞

第 53 回医学科卒業生（平成 19 年 3 月卒業）武地 大維



この度は大変栄誉ある賞を頂きありがとうございます。このような賞を頂いたのも、多くの方々のご指導の賜物と深く感謝しております。今後も、賞の名を誇りとすると共に、その名に恥じないよう努力を続けていこうと思っております。どうもありがとうございます。

●保健学科●

看護学専攻賞

第 2 回看護学専攻卒業生（平成 19 年 3 月卒業）

木村佳乃実



この度、看護学専攻賞を頂き、心から御礼申し上げます。徳島大学で素晴らしい先生方や友人に出会えたことを感謝しています。今後も人とのつながりを大切にし、患者様に信頼される看護師を目指して精進してまいります。

児 玉 賞

第 40 回栄養学科卒業生（平成 19 年 3 月卒業）岡本 直子



この度は児玉賞という名誉ある賞を頂くことができ、過分の御評価に感謝申し上げます。大学生活 4 年間で学問の奥深さを感じる事が出来たのも、御指導下さいました、素晴らしい先生方のおかげと感じております。今後も、初心を忘れることなく努力していきたいと思っております。

藤 田 賞

第 2 回放射線学専攻卒業生（平成 19 年 3 月卒業）

岡川 貢



このたび名誉ある藤田賞を頂くことになり、心より感謝申し上げます。この四年間で多くのことを学び成長できたと感じています。この受賞をさらなる励みとし、社会人として技師として日々向上していきたいと思っております。

宮城 秀平



この度名誉ある藤田賞を頂きましたこと、大変光栄に思います。4 年間を通じて御指導賜りました先生方に心より御礼申し上げます。これまで勉強してきた日々を忘れず、今後も絶えず自己研鑽に努めていきたいです。

す だ ち 賞

第 2 回検査技術科学専攻卒業生（平成 19 年 3 月卒業）

滝本真由美



この度は名誉あるすだち賞を頂き、心より感謝申し上げます。大学生活では多くの方々との出会い、成長することができました。4 月からは徳島で学んだことを活かし、新たな環境で頑張りたいと思っております。

竹 内 賞

第 1 回助産学専攻科修了（平成 19 年 3 月修了）

菅長由香理



第 1 回卒業生として、竹内賞を授与できましたこと、大変光栄に存じます。助産学専攻科では、母と子の命を同時にあずかる重大な責務を担う助産師になるための充実したカリキュラムの中、多くのことを学ぶことができました。女性の傍らで安全と安らぎを与えられる助産師になるよう努力してまいります。

医学部優秀教育賞

医学優秀教育賞：寺嶋 吉保（医療教育開発センター 助教授）
 栄養学優秀教育賞：伊勢岡義充（国際公衆栄養学分野講師）
 保健学優秀教育賞：佐原 玉恵（母性・小児看護学助手）
 * 医学科、栄養学科、保健学科の教育及び学生指導に貢献した人を表彰する賞です。

Best Teacher of the Year 2006 賞

医 学 科：赤池 雅史（循環器内科 講師）
 林 しの（視能訓練部 助手）
 太田 健一（機能解剖学 助手）
 栄養学科：高橋 章（代謝栄養学 助教授）
 保健学科：井村 裕吉（診療放射線技術学 講師）

* Best Teacher of the Year 賞は学生の投票で決まる賞です。

医学部優秀学生賞

医 学 科・5 年：坂根亜由子 医歯薬剣道部
 5 年：横山 愛子 医 学 科・2 年：西川 達哉
 井澤 恵 （代表者）
 中西 悦郎 柔 道 部
 4 年：松下 健太 医 学 科・3 年：西山 徹
 近藤 可菜 （代表者）
 松本 早代
 栄養学科・4 年：山下さきの

* 各種活動等において顕著な功績があった学生又は学生団体を表彰する賞です。



優秀教育賞、Best Teacher of the Year 2006 受賞者
 前列左から：赤池雅史、佐原玉恵、伊勢岡義充
 後列左から：長篠保健学科長、宮本栄養学科長、高橋章、太田健一、井村裕吉、
 松本医学部長、泉医学科長（敬称略）



寺嶋吉保



林しの



写真で見る 医学部

医学部医学科の改修の進行状況

玉置医学科棟改修計画WG委員長

平成17年度より医学部医学科棟の改修が始まりました。現在使用している医学部医学科の研究棟は、私が学生時代に使用した時のままであり老朽化が目立ち始めていました。また、古い考えで建築された国立大学の建物は、学生が学ぶためと言うよりは教官が研究するための建物であったように思います。大学が研究機関として成果をあげることは大学の役割として必須ですが、次世代を担う人材の育成も大きな役割です。このために、改修の基本方針は、耐震機能を十分に確保することと学生や大学院生の学ぶ環境を充実させる事です。第一期工事では、医学部基礎A棟の西半分と医学科の基礎医学実習室が改修されました。当時の曾根医学部長の方針で、外壁にタイルを使用して美しく上品な研究棟に仕上がりました。また、学生にとって使い勝手が良い実習室は、他目的の利用が可能のように配慮されたものです。6分野が既に新しい教室に移って教育・研究活動を開始しています。平成18年度には、第二期工事として、医学部基礎A棟の東半分と中心部の増築工事が現在進行しています。この第二期工事では中心部の1階と2階に事務部門が集中し、教授会開催の会議室・医学部長室・研究部長室・

事務部長室など医学部の中枢部門も配置されます。この中心部分は医学部の新しい玄関になりますが、カフェテリアが設置され寛ぎと癒しを感じられる暖かみのある玄関が出来上がるものと考えています。引き続き第三期工事が決定されており、平成19年度には医学部基礎B棟を中心とした教育スペースの改修が始まります。基礎医学講義室、チュートリアル室、パソコン室などが整備され、最新のIT技術を利用でき学生が快適に勉強できる教育スペースがほぼ完成する事になります。

アメニティの充実した教育・研究環境を目指して、徳島大学医学部の改修を進めていく予定です。



編集 後記



地球温暖化や世界的な異常気象などについての報道がマスコミを賑わせていますが、日本の四季の移ろいは今のところ変わりなく巡ってきています。4月になり桜が満開になると、いよいよ新しい学期が始まり、新入生が入学してきます。今回は医学部長はじめ、各学科長や所属の教員・学生から歓迎の言葉をいただきました。学生からは反省を込めたアドバイスや暖かい励ましの言葉があり、新入生の皆さんにはぜひ参考にいただければと思います。

ところで、医学部研究棟の改築も順調に進んでおり、間もなく第二期工事が終了します。今回は1階にカフェテリアも設置される予定で、学生や教員の憩いの場所になることと思います。楽しみです。また、病院もコーヒーショップにうどん店、ローソンが開店し、患者さんだけでなく学生や教員にも人気です。さらに、今年は西病棟の建築もはじまり、医学部にとってはさらなる発展の年になるものと思います。

(金山博臣)

発行 徳島大学医学部 編集 医学部広報委員会
 広報委員 金山博臣(委員長)、福井義浩、勢井宏義、大下修造、太田房雄、齋藤 憲、森口博基、宮本敏克

本誌へのご意見・ご要望は、第一総務係 E-mail : isysoumu1k@jim.tokushima-u.ac.jp まで
 お願いします。なお、写真は執筆者各位の提供により掲載しています。

Tel: 088-633-9118 Fax: 088-633-9028

URL <http://www.hosp.med.tokushima-u.ac.jp/university/servlet/index>